

トツプあひさつ

順不同

2007年 年頭所感

投資マインドの冷え込み懸念

リエゾンパートナーズ 秋元二郎社長



今年も総量規制の中で施設の開設スピードは依然上がらないでしょう。その一方で利用者の質に対する要求は益々高まっており、いよいよサービスの質を競う時代に入るのでは。その中で優勝劣敗もはっきりしてゆき業界再編が加速すると思われる。また、

サブプライム・ローン問題の影響等により不動産への投資マインドは総じて一段と冷え込む傾向にあり、有老ホームへの投資はより事業リスクにフォーカスされるため、資金が付き難い環境となること懸念されます。投資機会としては、今年はM&A案件が増え、それに伴って不動産をまとめて分離するような流動化案件が期待されます。